

寺報

No.598

平成29年6月

蓮華寺
行

御聖訓

親^{おや}も親にこそよれ、
 釈尊^{しやくそん}ほどの
 親はありがたし。

『南條兵衛七郎殿御書』



(解説)

時代がどう移り変わろうとも、子供は親にとって最高の宝であり、親ならば誰でも子供の成長を願うものです。

親は「さあ子供が生まれた、おーハイハイし始めた立った、歩いた」と、そのつど喜び、感動していくものです。

しかし、この感動が、成長するにしたがって薄れ、子供が「産んでくれと頼んだ覚えはない」などと言いだし、いつの間にか親子関係に亀裂が入り、やがて親子による殺人事件などが起きてしまうような状況が続いています。

我々は、幸せを願う親の心を知る、子供達を育てていかなければなりません。

その為にも、信仰は欠かす事は出来ないのです。

先祖から連なる縁を、子に受け継がせるのが、我々の役目です。

だからこそ、家族の皆さんに霊神符（毎月のお守り）を着体して戴き、お題目の信仰に支えられた家庭を作り上げて欲しいのです。

聖徒団定時総会

『県内寺院参拝と懇親会』のお知らせ

日 時：六月二十五日(日)

集 合：蓮華寺・午前八時三十分【時間厳守】

バ ス：出 発：午前九時

場 所：参 拝：午後五時頃予定

懇親会：『法華寺』(碓ヶ関)

湯瀬会：『湯瀬ホテル』(秋田湯瀬温泉)

(今年は秋田まで足を延ばします)

【タオルは各自持参の事】

費 用：大人 五、五〇〇円

子 供 三、〇〇〇円(小学生まで)

②開帳料、入館料、昼食代、交通費等を含む。

募 集：九十名(会員以外の方も参加出来ます)

持参品：数珠、聖徒団のタスキ、霊神符

注意事項

一、法華寺での供養・祈願は、当日の朝受付です。

* 供養・祈願・・・各五百円

一、必ず霊神符【毎月のお守り】を着体してきて下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますのでこの機会にお求め下さい。三千円(事務所迄)

檀信徒研修会のお知らせ

六月十七日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間：午後七時より

場 所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(お経本・・・事務所にて)、数珠

* 月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。

お寺で、気持ちを含め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓を叩いて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

* 自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましょう。

②足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

護持会総会開催さる

去る五月九日午前十一時より、蓮華寺護持会役員によります平成二十九年度総会が開催されました。

住職上人御導師の元、参加者全員でお勤めの後、『山本 基』護持会々長の議長により議事は進行され、僧侶・役員紹介に始まり、平成二十八年度の収支決算と平成二十九年度の予算審議、伝道・奉仕・教宣の各部の活動などについて協議が行われました。

また、住職上人からは「今年は大行事や改装はありませんが、例年通りお寺の護持運営にご協力戴きますようお願い致します。また、昨年長年に渡り副会長をお勤めになりました『三浦祐一』様に感謝すると共に「ご冥福を祈ります。そして、新たに就任されました『山谷清文』様には今後のご活躍をよろしくお願い致します。」とのご挨拶がありました。

なお、三月現在の正確な護持会の会員数は、昨年度より【二十二】人増えまして【四、六八四】人となりました。

皆様のご尽力に感謝致します。しかし、まだ二十八年度の会費の未納があるそうです

檀信徒研修会のお知らせ

六月十七日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間：午後七時より

場 所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(お経本・・・事務所にて)、数珠

* 月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。

お寺で、気持ちを含め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓を叩いて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

* 自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましょう。

②足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

ので、今後とも役員の皆様を中心にして、檀信徒のご協力を戴きながら、会費の納入にご尽力する事をお誓いし、今年度の総会を無事終了する事が出来ました。どうか檀信徒の皆様も、この点をお踏まえになりまして、今以上に護持会へのご支援をよろしくお願い致します。また、檀家であっても加盟しないという方もいるようですが、是非ご協力下さいますように重ねてお願い致します。

護持会費・・・年額六、〇〇〇円【月五〇〇円】以上

②特別ご協力戴けます方には、上限はありません。

※お寺からのお願い

お葬式・ご法事・ご祈祷・霊断等のお申込みは、必ずお寺と打ち合わせの上、日時を決めて下さい。

護持会 『常任評議員』の紹介

- 【会長】 山本 基
- 【副会長】 松尾 拓爾・山谷 清文(新任)
- 【監事】 阿保 廣志・小野 豊秀・渡邊 栄
- 【理事】 成田 葉子・渡邊 文教・渡邊 昭二
- 渡邊 學・佐藤 忠義・山本 治男
- 山田 兼補・小野 正春・杉淵 昌三
- 奈良 重徳・安田 武勝・石郷岡総一郎
- 白取 淳悦(新任)
- 【会計】 川越 大

蓮華寺事務員の紹介

- 【事務長】 齊藤 豊
- 【事務員】 川越 大(おおき)
- 齊藤 慶成(けいなり)
- 川越美由紀



お坊さんの紹介

住職以下六名の少ない僧侶で頑張っていますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

住職・角田堯淳 役 僧・對馬章文

執事・加藤篤宏 埜 堯尊

加藤曉宏

顧問・角田堯専

『位牌壇』募集！

- ◎分割は三年間の内に、回数はお相談下さい。
- ◎下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。
- ◎特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、位牌壇がありますと、常にお寺に参拝出来ます。
- ◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後に渡り守り続けられていきます。
- ◎ご命日の時、旅行や所用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げします。

日蓮宗の「太鼓」

一口に太鼓といっても用途によって種類が多く太鼓・吊り太鼓・樂太鼓・団扇太鼓などがあります。太鼓は本来、戦いの合図用として創始されたといわれていますが、後に集會・昇堂・時報などに用いられました。

仏教では、樂器を以て供養を捧げるといふ伎樂供養の一つとして、法要に用いられていまして、かなり古くから使用されていたと思われれます。

その形状は、木材をくり抜いた円筒形の胴の両面に牛皮を張り、金属の鉞で止めたものでした。

特に法華經の中には『鼓を撃ち角具を吹き(略)是の如き諸々の妙音、尽く持つて供養し(略)皆已に仏道を成じき』と説かれています。

日蓮宗では昔から「だんだん良くなる法華の太鼓」といわれるように、太鼓といえば法華宗(日蓮宗)、法華宗といえば太鼓とまで世間に知れ渡っています。それでは、太鼓を唱題に用いるようになったのはいつ

頃か、といいますがこれは定かではありません。日蓮宗にはこういう言い伝えがあります。

【鎌倉時代、ある念仏僧が日蓮大聖人の教えを聞くうちに、念仏の救いに疑問を持ち、ついに改宗してお弟子になりました。ところが、それまで念仏を唱える時はいつもカネを叩いて調子をとりながら唱えていたので、お題目を唱える時に何もないと、どうもリズムにのって唱える事が出来ません。

そこで、「お題目を唱える為に何か良い方法はないのか」と考えまして、色々な樂器を用いてお題目を唱えてみました。その中でも、太鼓を叩いてお題目を唱えてみますと、大変調子がよろしい。

そこで、日蓮大聖人のお許しを戴きまして、この僧はもつぱら太鼓を叩いてお題目を唱え続けました。

この縁で、大聖人はこの僧に名前を『首題房日唱』と名付けられた。』

この話はいくまで伝説ですが、京都松ヶ崎「題目踊り」の起源を記した『日本歳時年誌』によりますと、実眼

という僧が松ヶ崎・湧泉寺で徳治元年（一三〇六）の八月十五日、精霊供養の為に太鼓を打ち唱題しながら踊ったとあります。

また、日蓮宗寺院で現存する最古の太鼓は、天正十年（一五八二）の銘を有する鎌倉妙本寺の太鼓であります。

しかしこの時点では、まだ『団扇太鼓』についての記載の書物はありませんが、江戸時代後期の浮世絵師『安藤広重』の「身延山朝詣群集新大橋の景」の版画に描かれています、題目講中の人々が皆、手にしています太鼓は、団扇太鼓であります。

従いまして、太鼓も時代と共に色々工夫が加えられ、持ち運びに便利な団扇太鼓が作られたのは、江戸の初期と推察され、中期にはかなり普及したのではないかと思います。

その後、団扇太鼓は唱題行脚などにも用いられるようになりました。

何れにしても、日蓮宗で太鼓を用いますのは、お題目の調子をとる為と、自らの心を集中させてお題目を唱える為にあるといえます。

このお題目の功德が、太鼓の響きによって流れる時、その響きが人々に深い縁を結ばさせる事はいうまでもないでしょう。

どうか皆様も、お寺に足を運び遠慮なさらずに、一緒に太鼓を叩いて『南無妙法蓮華経』とお題目を唱えていきましよう。



☆ 霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。

☎ 776-5840

【ご相談料は一件につき三、〇〇〇円です】

日常の中に仏世界

六月の行事

一 日（木）『盛運祈願会』 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お守りを交換しましょう。
- ・ 聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。



六 日（火）甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

九 日（金）妙見小祭 朝のお勤め中

十三日（火）『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
- 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）

十七日（土）檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

二十二日（木）鬼子母神小祭 朝のお勤め中

二十五日（日）『聖徒団総会』 午前八時半集合

☆ 奉仕のお知らせ

二十五日（日）『聖徒団総会』

・ 教宣部男女は午前八時集合

*教宣部員の皆様は、率先して『聖徒団総会』に参加し、お手伝い下さい。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
教宣部長・杉淵昌三

『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「お正月」「御会式」に下げます『提灯』（トロー）を限定で三個募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

☆ 十三日（日蓮大聖人の月命日）の

お勤めには必ず参拝しましょう!
毎月十三日 午後一時より



来月のお知らせ

鬼子母神大祭

七月 八 日 (土)

午後六時半より



法 話：日蓮宗青森県宗務所協議員

つがる市 要心寺住職

加藤 知宏 上人

* 鬼子母神は家内安全・諸願成就を叶え、また子供の
発育を育む大切な善神です。

* 檀信徒の皆さん、小さなお子さん、お孫さんをお持ち
の方、また出産予定の方も必ずご参拝下さい。

一 般 御祈願・・・千 円 (読み上げ・お札)

特 別 御祈願・・・二千元 (読み上げ・木札)

一 般 御法楽・・・千 円 (読み上げ・お札)

鬼子母神御神体・掛け軸の御法楽・・・二千元

(読み上げ・お札)